

西暦 2022 年 4 月 15 日

山形大学医学部附属病院にて診療を受けている、受けたことのある方、ご家族の方、ご親戚等の方へ（研究に関する情報）

当院では、下記の研究を実施しております。この研究は、通常の診療または過去に実施した研究で得られた試料や情報（以下、「臨床情報」という。）を用いて行います。

この掲示によるお知らせの後、臨床情報の使用を許可しない旨の、ご連絡がない場合においては、研究へのご理解をいただいたものとして実施します。

なお、個人が特定できる情報は研究には利用しません。また、研究データ上にも残りませんので、研究の実施により、あなた、またはあなたのご家族・ご親族等の個人情報が流出することはないと考えております。

また、研究の成果を公表するときにおいても個人情報を提示することはありません。

皆様方におかれましては、研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、お問い合わせ先まで、ご連絡ください。

①研究課題名	肺組織におけるリゾホスファチジルコリンアシル転位酵素 2 (LPCAT2) の発現の検討
②倫理審査委員会承認番号	2022-78
③研究期間	承認日～2025 年 3 月 31 日
④研究の目的	<p>最近の研究により、血小板活性化因子という物質が肺内の炎症に関わり、呼吸器疾患の病態形成に関わっていることが報告されています (Oncotarget. 2017;8:74720-35.)。こうした知見を基に、当科では血小板活性化因子の制御系因子であり、脂質メディエーター合成酵素の一つであるリゾホスファチジルコリンアシル転位酵素 2 (LPCAT2) をターゲットとした基礎研究を行っています。同酵素を遺伝子操作したマウスに刺激を与えると、肺内の炎症の状態に変化が起きることが確認され、LPCAT2 は肺内の炎症制御の重要な役割を有していると考えました。</p> <p>一方で、呼吸器疾患は遺伝的背景や生活歴 (喫煙・職歴) 等の影響を受ける多因子疾患であるため、人体における複雑な相互作用を紐解くことは病態解明にとっても重要です。</p> <p>我々は動物実験で得られた結果をもとに、人の体内で LPCAT2 がどのように呼吸器疾患に関与するかを明らかにし</p>

	ようとしています。
⑤この研究の対象となる方	2016年1月1日～2021年12月31日に本院に来院し肺癌の治療を受けた方
⑥研究の方法	この研究では、肺癌で肺切除手術を受けられた患者様の肺から、正常な部分を取り出し、LPCAT2の免疫染色により定量評価を行います。喫煙等の生活歴や、既往症との関連を検討します。
⑥利用する情報	血液・生理検査データ、生活歴、切除された肺の癌細胞を含まない領域
⑦他機関への臨床情報の提供	【提供がない場合】 本研究の実施にあたり、他の研究機関に臨床情報が送付されることはありません。
⑧臨床情報の管理責任者	管理責任者氏名：井上純人
⑨臨床情報を利用する者	研究責任者氏名：井上純人 主任研究者氏名：井上純人 分担研究者氏名：渡辺昌文、邨野浩義、五十嵐朗、佐藤正道、西脇道子、根本貴子、佐藤千沙、佐藤健人、小林真紀、峯岸幸博、塩野知志、鈴木潤
⑩臨床情報の利用停止について	いつでも、この研究にあなた自身の臨床情報を使用しないよう求めることができます。臨床情報の使用を認めなかったとしても、あなたに不利益が生じることはありません。申し出をされる場合は本人又は代理人の方より、下記の連絡先までお問い合わせください。 ただし、使用停止を求めた時点で、研究結果が論文などで公開されていた場合には、完全に臨床情報の使用を停止できないことがあります。
⑪問い合わせ先	山形大学医学部附属病院 〒990-9585 山形県山形市飯田西 2-2-2 (所属)：内科学第一講座 (氏名)：井上純人 (電話)：023-633-1122

以上